

第三次産業(小売業・飲食店・ビルメンテナンス業)の災害防止について

中央労働基準監督署

当署における今年度の重点目標の一つとして、労働災害発生件数が多い、第三次産業(特に小売業・飲食店・ビルメンテナンス業)の労働災害防止対策の推進を掲げております。
今回、この3業種における災害多発事例とその対策のポイントについてご紹介いたします。

小売業では転倒災害・動作の反動災害 この2つで災害の半数を占めます

転倒災害事例

50歳代 女性 経験6年 休業7週間

食堂で休憩を終えて歩行中に床面が広範囲に水で濡れている事に気付かず滑って転倒した。左手で体を支えてしまい骨折した。



転倒災害防止のポイント

「滑り」「つまずき」を防止するため、床の濡れをきちんと拭き取る、通路に置いてある荷物を片付けるなど、「整理・整頓・清掃・清潔」(4つの頭文字をとって4Sと言います)を徹底する。

※転倒による労働災害の平均休業日数は1か月を越えており、予想外に重い災害に結び付くことが多くなっています。

動作の反動・無理な動作による災害事例

40歳代 男性 経験7年 休業4日

店内において、段ボール箱に入った荷物の積み下ろしや移動を繰り返しながら仕分け作業をしていたところ、荷物を持ち上げようとした際に腰に激痛がはした。



動作の反動・無理な動作による災害防止のポイント(腰痛予防)

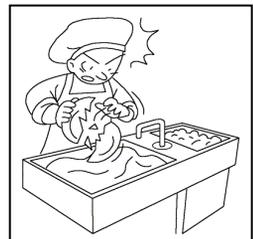
- 「省力化」 重量物の運搬には台車を使用する。
- 「作業姿勢・動作」 荷物にできるだけ身体を近づけて作業
- 「実施体制」 重い荷物は複数で作業する。作業時間の管理。
- 「作業標準の策定」 作業姿勢・動作・時間などについて作業標準を策定。
- 「作業環境」 照明・作業床面・作業空間の確認
- 「靴・服装等」 荷の取り扱いにおいては運動靴等を着用

飲食店では転倒災害・切れこすれ災害 この2つで災害の半数を占めます

切れ災害事例

30歳代 女性 経験1月 休業7日

厨房内の洗い場でグラス等を洗おうと仕分け作業をしていたところ、グラスがシンク内に落下し割れたが、とっさにグラスを手で持ってしまったため裂傷を負った。



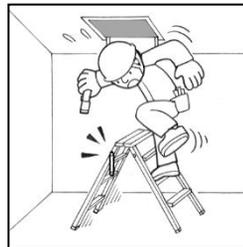
切れ災害防止のポイント

- 「刃物」 使用時は目線を外さない、使い終わったら所定の場所に収納、冷凍食材に注意
- 「割れた食器」 洗浄時はゴム手袋等を着用、ゴミ袋の取扱いにも注意
- 「食品加工用機械」 安全カバーは確実に使用、点検掃除は電源をOFF

ビルメンテナンス業では転倒災害・墜落災害 この2つで災害の7割を占めます

転倒災害事例

40歳代 女性 経験3月 休業5日
ホテル客室内において掃除機をかけようとしたところ、掃除機のコードやホースにつまずいて転倒したものの。



転倒災害防止のポイント

「つまずき」を防止するため、電気コードを整理する、通路に置いてある荷物を片付けて作業を開始するなど、作業の手順を確認する。
コードレスの掃除機を導入する、電気コードの上に養生マットを設置するなど、設備面での改善を行う。



墜落・転落災害事例

70歳代 男性 経験10年以上 休業10週間
室内階段踊り場部分の窓台を踏台脚立に上がって清掃中にバランスを崩して床面に転落したものの。



墜落・転落災害防止のポイント

「脚立」開き止めを確実に使用する。最上部に乗って作業はしない、身を乗り出して作業はしない等、正しい使用方法について周知すること。
「はしご」転位防止措置や脚部の滑動防止措置を確実に行う。
「開口部等」墜落の恐れのある箇所については手すりや覆いを設置し、設置出来ない場合には安全带などの保護具を確実に使用する。
「ブランコ作業」ライフラインを設置しロリップ等で安全带を確実に設置する。（ブランコ作業の安全について法整備が予定されています）

※ ブランコ作業(ロープ高所作業)については、特別教育の追加、ロープ高所作業における危険の防止のための規制等について、労働安全衛生規則が新設されました。
(平成28年1月1日(特別教育については7月1日)施行)

ロープ高所作業

検索

上記イラストは厚生労働省職場の安全サイト内より引用しています。

安全衛生関係各種情報について

労働災害防止情報について(厚生労働省ホームページ)

安全・衛生に関する主な制度・施策紹介 「安全・衛生」で検索
STOP! 転倒災害プロジェクト 「STOP! 転倒」で検索
安全衛生関係のパンフレット一覧 「安全 パンプ」で検索
職場の安全サイト(災害事例等) 「職場 安全」で検索

安全・衛生	検索
STOP! 転倒	検索
安全 パンプ	検索
職場 安全	検索

Safe Work TOKYOについて

東京労働局では第12次労働災害防止計画に基づく各種の取組を「首都東京」において、着実に推進するため、「第12次東京労働局労働災害防止計画」(5カ年計画)を策定し、「Safe Work TOKYO」をキャッチフレーズに、「官民一体」となった取組みを推進しています。

Safe Work TOKYO情報について(東京労働局ホームページ)
「セーフワーク東京」で検索

Safe Work TOKYO ロゴマーク

セーフワーク東京

検索

